

競 技 注 意 事 項

1. 規則について

(1) 本大会は2019年度日本陸上競技連盟競技規則及び本大会要項・本競技注意事項により実施する。

2. ナンバーカードについて

- (1) 当日、競技者インフォメーション(TIC)にて、ナンバーカードとプログラムを配布する。ナンバーカードは、競技中に着用するユニホームまたはTシャツ等の胸と背に、そのままの大きさを四隅を安全ピンでとめてつけること。ただし、跳躍競技の選手については胸か背のどちらか一方でよい。
- (2) トラック競技出場者には、招集時に腰ナンバー(写真判定に使用)を貸与する。(リレーは第4走者のみ)右腰やや後ろにつけ、競技終了後、フィニッシュライン付近の箱に返却すること。

3. 招集について

- (1) 選手招集は、トラック競技・フィールド競技ともに、100mスタート地点横で行う。
- (2) 招集時刻は、その競技の開始時刻を基準として、下記のように行う(タイムテーブル参照)。

	種目	招集開始時刻	招集完了時刻
トラック	予選(1~8組)	40分前	20分前
	(9組~)	30分前	10分前
	予選のない決勝(タイムレース)	40分前	20分前
	決勝	20分前	10分前
フィールド	決勝(走幅跳)	50分前	30分前
	決勝 (走高跳、ジャベリックボール投)	40分前	20分前

- (3) 代理人による招集は一切認めない。
- (4) 個人種目と同時にリレーにも出場する場合は、事前にその旨を競技者係に申し出て競技に参加すること。
- (5) リレー競技に出場するチームは、**招集完了時刻60分前までに**(タイムテーブル参照)オーダー用紙を競技者係へ提出すること。(オーダー用紙は招集所で競技者係から受け取る。) **遅れた場合は競技に出場できない。**また、一度提出したオーダーは、主催者の任命した医務員の判断が無ければ変更を認めない。
- (6) 招集に遅れた場合は競技に出場できないので、時刻を厳守すること。
- (7) 招集場所へは、競技に出場する際のナンバーカードをつけたTシャツ等を着用して集合すること。

4. 競技方法について

- (1) トラック競技のレーン順及びフィールド競技の試技順は、プログラム記載の順とする。
- (2) トラック競技の決勝の組み合わせ及びレーン順は本部にて公正に抽選し決定する。発表は掲示による。
- (3) 競技しやすい靴をはくこと。素足での出場は認めない。スパイクシューズはピンの長さが全天候性走路用9mm以下のものを使用すること。
- (4) 50m、60m、100m、60mH、80mH、4×100mR第1走者のスタートはクラウチングでもスタンディングでもよい。スターティングブロックは男女とも5年生、6年生100mの決勝のみ使用できる。使用する場合はセッティングを速やかに行うこと。スターターの発声は5年、6年については英語、それ以外は日本語で行う。
- ※スタートに関するルールは全国大会に準じる。

同一人が2回不正スタートした場合は失格とする。ただし、競技には参加させ、記録は参考記録とする
--

- (5) ハードル競技は以下の規格により行う。

種目	スタート~第1ハードル	高さ	インターバル	台数	最終ハードル~フィニッシュ
60mH	12m	60cm	6m	7台	12m
80mH	13m	70cm	7m	9台	11m

- (6) 危険防止のため、800m以外のトラック競技においては、競技者の安全のためフィニッシュライン通過後も自分のレーン(曲走路)を走り、他のレーンに入らないよう注意すること。リレー競技の第1～3走者はバトンパス完了後も各自のレーンにとどまり、競技役員の指示により走路外に出るものとする。
- (7) 800mのスタートは、オープンで行う。
- (8) リレーのメンバー編成は申込時のメンバーで構成する(競技規則第170条10は適用しない)。
- (9) リレーのマークは各チームで粘着テープを用意し、レース後に必ず取り外すこと。
- (10) リレーチームは同じユニホームを着用のこと。
- (11) 男女とも800m、60mH、80mH、4×100mRは決勝のみとし、タイムレースで順位を決定する。1年50m、2年50m、3年60m、4年60m、5年100m、6年100mは予選の上位記録8名を決勝進出者とする。同記録がありレーンが不足するときは、抽選を行う(同じ組の場合は順位を優先する)。その際は場内アナウンスにより呼び出しをするのでアナウンス後、速やかに本部に来ること。指定された時刻までに来なかった場合はその権利を放棄したものとする。
- (12) 走高跳のバーの上げ方は以下の通りとする。

	練習	1	2	3	4	5	6	
男子5年、6年	0m90	0m95	1m00	1m05	1m10	1m15	1m20	以後、最後の1人になるまで3cmきざみ
女子5年、6年	0m90	0m95	1m00	1m05	1m10	1m15	1m20	以後、最後の1人になるまで3cmきざみ

- (13) 走高跳の跳び方は「はさみ跳び」とする。マットへの着地は足裏からとし、背・腰から着地はした場合は無効試技とする。
- (14) 男女とも5年、6年走高跳の第1位決定のためのバーの上げ下げは2cm刻みとする。
- (15) 走幅跳、ジャベリックボール投は3回の試技で順位を決定する。
- (16) ジャベリックボール投はやり投ピットで行い、投てき角度はやり投と同じとする。助走距離は15m以内でスパイクを使用してもよい。ジャベリックボール投の試技の際には、ボール本体を持ち、オーバーハンドで投げるものとする。羽だけを持って投げることは禁止する。
- (17) ジャベリックボール投は、**連続3回の試技**を行う。
- (18) 本競技会(練習を含む)で使用する用器具はすべて主催者が用意したものとする。

5. 練習について

練習は第2コーナー出口外の練習場もしくは 14時50分まではバックストレートも使用できるが(ハードル練習は、タイムテーブル参照)、必ず指導者が監督し、逆走したり走路にとどまることのないよう、安全に注意して行うこと。

6. 抗議について

抗議はチームの公式な代表者が口頭で競技者インフォメーション(TIC)へ当該種目の結果が正式に発表された時刻から30分以内(次のラウンドが行われる競技では15分以内)に行うこと。

7. 表彰について

各種目1位～3位にメダルと賞状、4位～8位に賞状を授与するので、メインスタンド下中央に集合すること(競技終了から概ね30分後)。

8. 競技場使用規定(競技場使用上の注意)

- (1) 競技場および公園内は、大切にきれいに使用すること。
- (2) グラウンド以外(スタンド・ダッグアウト・大会本部・アスファルト舗装面等)でのスパイクシューズの使用は禁止する。
- (3) ゴミは競技場近辺やコンビニ、駅等に捨てずに必ず持ち帰ること。

9. その他

- (1) 競技中の事故における怪我について、主催者は応急処置を行うが、責任は負わない。
- (2) 貴重品等は各自・各チームにて管理し、盗難・置き引き等に十分注意すること。
- (3) 記録証は希望者に1枚300円で発行するので競技者インフォメーション(TIC)に16:00までに申し出ること。
- (4) 届けられた拾得物については、競技者インフォメーション(TIC)にて競技会終了時まで保管し、以降は大井スポーツセンター管理事務所で管理する。
- (5) 更衣室へは私物を置かないこと。また、選手の待機場所として使用しないこと。
- (6) 競技運営システムに支障をきたすことがあるので、競技場内及びその周辺でゲーム機の使用は控えること。
- (7) 大会運営、競技に関する不明な点は競技者インフォメーション(TIC)へ問い合わせること。

プログラムに記載ミス(氏名、ふりがな、学年、所属等)があった場合は9時(遅くとも出場する競技の1時間前)までに競技者インフォメーション(TIC)へ申し出ること。競技終了後の訂正(賞状、記録証を含む)は行わない。

競技会コード 19 13 0920 競技場コード 133080